

平成二十八年 度

浜松学院大学

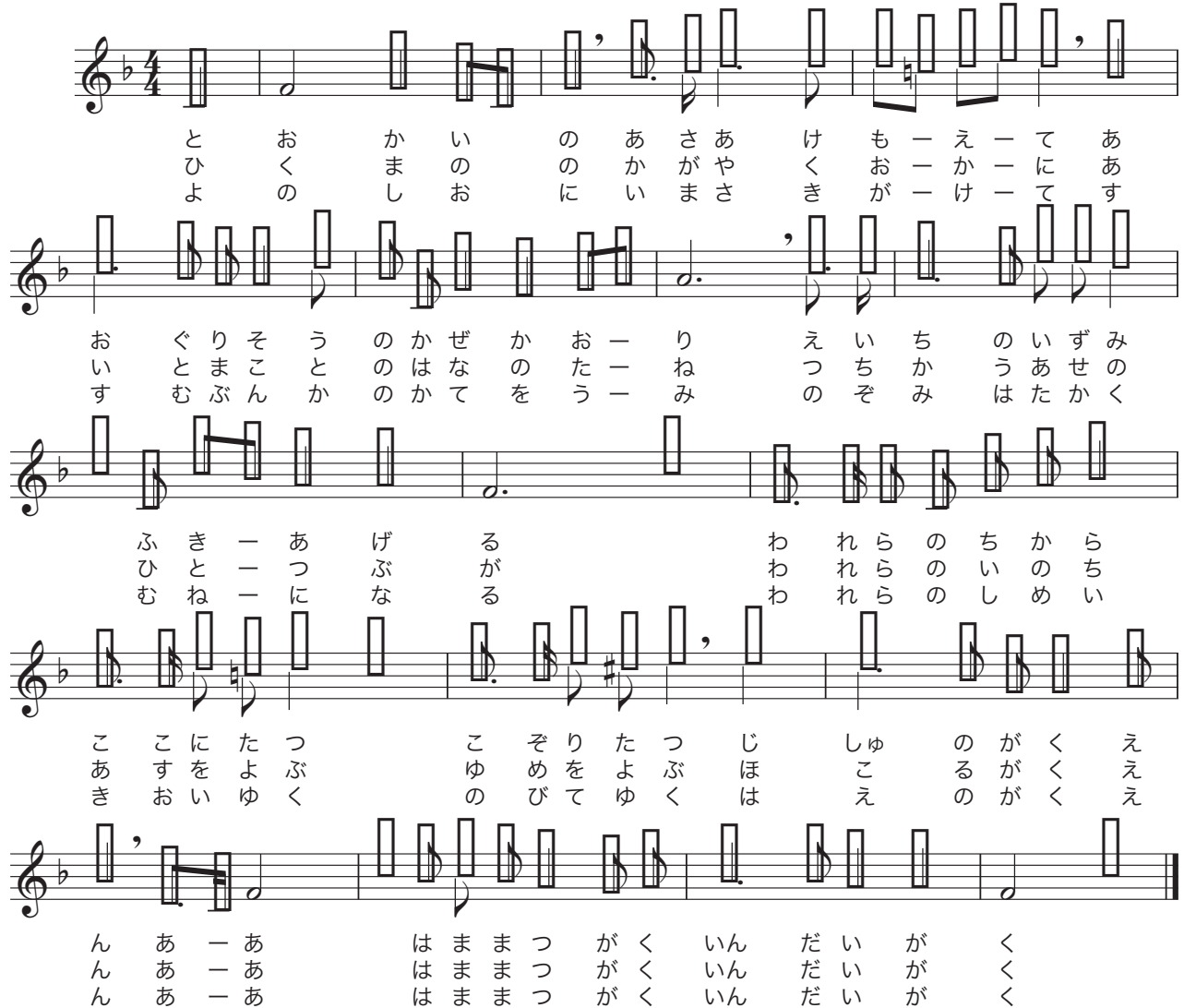
同窓会だより



浜松学院大学校歌

後藤一夫 作詞

奥村唯夫 作曲



と ひ よ お く の か ま し い の お の に あ か い さ が ま あ や さ け く き も お が ー ー け ー ー て に て あ あ す

お い す ぐ と り ま そ う の か ぜ か お ー り え い ち の い ず み

お い す る と り ま そ う の か ぜ か お ー り え い ち の い ず み

ふ ひ ん き と ー あ げ る わ れ ら の ち か ら

ふ ひ ん き と ー あ げ る わ れ ら の ち か ら

こ あ き こ す お に を い た よ づ こ こ の ゑ め り を た よ づ じ ほ し ゆ の の が く え

こ あ き こ す お に を い た よ づ こ こ の ゑ め り を た よ づ じ ほ し ゆ の の が く え

ん ん あ あ ー あ は ま ま つ が く い ん だ い が く

ん ん あ あ ー あ は ま ま つ が く い ん だ い が く

校 歌

後藤一夫 作詞
奥村唯夫 作曲

一、

東海のあさあけ燃えて
あおぐ理想の風かおり
英知の泉ふきあげる
われらの力

ここに立つ 挙りたつ

自主の学園 ああ
浜松学院大学

二、

曳馬野のかがやく丘に
愛とまことの花のたね
培う汗の一つぶが
われらのいのち

あすを呼ぶ 夢を呼ぶ

誇る学園 ああ
浜松学院大学

三、

世の潮にいまさがけて
すすむ文化の糧をうみ
のぞみは高く胸に鳴る
われらの使命

勢いゆく のびてゆく
栄えの学園 ああ

浜松学院大学

平成二十八年度 浜松学院大学同窓会

総会・懇親会次第

- 一、開会の辞
- 二、会長挨拶
- 三、学長挨拶
- 四、議 事
 - ・平成二十七年事業報告及び会計報告
 - ・平成二十八年度事業計画及び予算
- 五、閉会の辞
- 六、講演会
- 七、懇親会
 - ・開会の辞
 - ・校歌斉唱
 - ・議員紹介
 - ・アトラクション（お笑いライブ）
 - ・抽選会
 - ・閉会の辞

平成28年度 浜松学院大学同窓会講演会

2016年7月3日

講演タイトル：

「地域に愛される、頼もしい大学であり続ける ～浜松学院大学～」

講演要旨：

少子化社会の中、2018年以降高校生の在籍者数が激減します。大学進学者数も相対的に減少すると言われています。私公立大学を問わず、各大学はどのようにして生き残りを図るか大きな課題となっています。

「地域に愛される、頼もしい大学であり続ける」ために、本学が取り組んでいることなどを紹介しながら、本学の今後の展望についてお話をします。

講師：石 田 勝 義 浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 学長

略歴：1945年 山口県美祢市生まれ
 1968年 日本福祉大学社会福祉学部卒
 2001年 県立御殿場養護学校校長
 2003年 県立浜名養護学校校長
 2006年 浜松学院大学短期大学部専任教員
 2011年 浜松学院大学現代コミュニケーション学部子どもコミュニケーション学科長就任
 2014年 浜松学院大学現代コミュニケーション学部長
 2016年 浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 学長就任



同窓会会長

伊藤 安男

同窓会会員の皆様には、ご協力

ご支援を賜り誠にありがとうございます。ご御座います。さて、学園全体では地域に信頼され愛される学園をめざすべく、興誠未来創造計画の教育環境を整備するための1策として住吉キャンパスの体育館の耐震補強が終了しました。又、布橋キャンパスの新体育館（アカデミア）が、3月に新築され桜が満開の時に入学式を行うことが出来ました。地域との交流、社会貢献の場としても使用されます。昨年度には、同窓会から1千万円の寄付をして体育館の備品の購入等に活用していただきました。

昨年から計画されていた子どもコミュニケーション学科対象の長期学外学修プログラムでは、フィリピンのダバオ市に約1ヶ月滞在して現地の幼稚園、小学校、特別支援学校などにおいて授業参観や子どもたちとのふれあい等を行います。地域共創学科対象では、天竜区春野町（勝坂地区）の北遠地域において、地域住民との交流、伝統芸能の継承や田畑の開墾や地

域の人々との交流を行います。

又、地元の有職者による授業や長期企業内留学も計画され、より多くの人格を育てる教育等現代の社会に通用する人の育成をしております。

短期大学部では、幼稚園教諭二種免許、保育士資格のダブル取得が可能であり、9500名の卒業生を数え多くの幼稚園等で活躍しております。

卒業生の皆様方には、多くの友人知人に誇れる学校学院大学にと声をかけていただきたいと思います。

最後に多くの企業の方々に広告掲載協力を頂き厚く御礼申しあげると共に、同窓生の皆様方には母校に対してご支援ご協力をお願いいたします。



浜松学院大学
浜松学院大学短期大学部
学長

石田 勝義

ごあいさつ

浜松学院大学同窓会会員の皆様、いつも母校に対してお心遣いを賜り、厚く御礼申し上げます。皆様、ご壮健のこととお慶び申し上げます。

さて、私は本年4月から学長に就任いたしました。平成18年4月に短期大学部に専任教員として5年間勤務し、その後、浜松学院大学に勤務し6年目を迎えています。その間、主に保育者養成に関わって参りました。こころの優しい学生たちに囲まれて、数多くの幸せな出会いをさせていただいています。

大学の教員という立場だけでなく、大学運営の責任者として、同窓会の皆様の大切な母校の繁栄に尽力いたします。学生たちにとつても、同窓生の皆様にとつても誇れる大学であり続けるように日々精進いたします。今後共せひ、皆様のお力添えをお願い申し上げます。

少子化社会の中、2018年以降高校生の在籍者数が激減します。大学進学者数も相対的に減少すると言われています。私公立大学を問わず、どのようにして生き残りを図るか大きな課題となっています。

本学は「誠の精神」のもと、「地域に愛され、頼もしい大学であり続ける」を経営ビジョンとして掲げています。地域に貢献できる人材を育成する大学教育の質保証を図るために、学生には「何を学び、なにができるようになるのか」を明確に指示し、自ら考え、課題解決の道筋が考えられ、コミュニケーション力を身につけさせます。

他大学と差別化を図る独自のカリキュラムを構成しています。さらに本学への進学者数を確保するために、「高大接続改革推進事業」にも着手して、2018年以降高校生の在籍者数が激減する中、本学の生き残りをかけた取り組みをしています。

会員の皆様は同窓生と再会すれば、幾年過ぎても、若きあの頃のことが昨日の如く思い出されるでしょう。同窓会の集まりにご出席いただき、原点である母校のことや旧友のこと、自分のこれからの歩み等々、思いを馳せる良い機会となさってください。

末筆ながら、皆様益々ご健勝で平安な日々をお過ごしください。ように心からお祈り申し上げます。

浜松学院大学同窓会 平成27年度事業報告

本同窓会は、会員相互の親睦を図り、大学の発展に寄与することを目的として、次の事業を行った。

1. 同窓会総会・懇親会の開催

平成27年7月19日（日）、同窓会総会を開催した。
平成26年度の事業報告、会計報告、新役員紹介、平成27年度事業計画および収支予算を提示した。講演会ならびに懇親会は企画委員会により企画され、来賓を含め120余名の参加者であった。

2. 同窓会報の発行

同窓会活動や収支決算報告、大学・短大の近況報告などの広報を目的とし、広報委員会において企画・編集作業を行った。平成27年度総会開催に合わせて発行し、出席者および協力企業等への配布を行った。

3. ホームページの更新

広報委員会において、同窓会Webサイトの更新を行った。

4. 理事の補充

会員組織委員会から理事増員の推薦をお願いし、新たに1名の理事就任について2月18日の理事会で承認される。併せて各委員会の委員について会長より発表があり承認される。

5. 寄付・寄贈

大学新体育館の落成に合わせスタッキングチェア600脚、放送設備、可動式ステージ10台を寄贈。大学の地共学科学生の多文化芸術祭参加に寄付。学園祭実行委員会に抽選会景品を寄贈。学園祭模擬店出店売上金を学友会に寄付。卒業生に卒業証書ファイルを寄贈。卒業パーティー実行委員会に資金援助。

6. 諸会議および行事参加・列席

正副会長会、常任理事会、理事会の開催および必要に応じて各委員会を開催し、議題および事業遂行について協議した。また、大学学園祭への模擬店出店のほか、式典等への招待に対し正副会長が列席した。

日時	会議・行事
平成27年 4月3日	大学・短大 入学式
13日	会計監査
23日	理事会 平成26年度収支決算・事業報告 平成27年度収支予算案 平成27年度総会について 常任理事会
5月21日	平成27年度総会について 常任理事会
6月18日	理事会 平成27年度総会について 大学への寄付について 理事会
7月16日	平成27年度総会について 平成27年度 総会・懇親会 理事会
9月3日	理事会 平成27年度総会決算報告 平成27年度総会の反省 年間スケジュールについて 理事の選出について 大学「共創祭」 模擬店出店 常任理事会
11月21日 22日 26日	平成28年度総会について 理事会・忘年会 平成28年度総会について 大学管理職を招待
12月17日	平成28年度総会について 理事会
平成28年 1月16日	短大 表現活動研究発表会 理事会 平成28年度総会について 新理事の承認
2月18日	大学・短大 卒業式・卒業パーティー 同窓会入会式 新理事紹介 卒業証書ホルダー寄贈 常任理事会
3月18日	平成28年度総会について 常任理事会
24日	平成28年度総会について

共創祭に模擬店参加

同窓会では、11月21日の共創祭に模擬店「同窓会のおかし屋さん」を出店し、イベントを盛り上げる手伝いをしました。今年も準備したオリジナルクッキー缶やお菓子は完売しました。



2015年の共創祭の様子

平成27年の総会・懇親会の様子



浜松学院大学

浜松市中区布橋3丁目2番3号 TEL 053-450-7000 FAX 053-450-7110

HGU
2017大学案内

浜松学院大学

現代コミュニケーション学部
現代コミュニケーション学科
子どもコミュニケーション学科



「地域の課題解決に

貢献する人材を育成」

現代コミュニケーション学部は、子どもコミュニケーション学科と地域共創学科の2学科によって構成されています。

子どもコミュニケーション学科は、幼児教育、保育、初等教育、特別支援教育などの専門職の資格取得を通して、時代や地域のニーズに応えられる教育者や保育者、リーダーシップを発揮できる人材を養成する学科です。

一方、地域共創学科は、「地域を知る」「地域から学ぶ」「地域の課題解決に貢献する」をコンセプトに、学修課程において、現場に立脚した能動的な学び（アクティブ・ラーニング）やDigital Resilienceプログラムにおいて、具体的に実践的な取り組みを図りながら、自己の将来像を展望しつつ、企画能力、現場即応能力、課題解決能力、危機管理能力、コミュニケーション能力等を身につけ、現代及び将来に向け社会が求める人材を育成することを目標とした学科です。

● 子どもコミュニケーション学科

「保育と教育を学ぶ」

幼稚園教諭・保育士を目指す「幼児教育・保育専攻」と、小学校教諭・特別支援学校教諭を目指す「初等教育専攻」があります。

時代や地域のニーズに的確に対応し、リーダーシップに優れた教育者・保育者となることができます。4年間の学びには、充実した専門性の高い講義に加え、直接子どもと関わる体験的なプログラムが豊富に用意されており、教育者・保育者に必要な実践力を確実に身につけることが出来ます。

【取得可能な資格】

保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状、小学校英語指導者資格、レクリエーションインストラクター

● 地域共創学科

「地域について多角的に学ぶ」

地域共創学科には、「地域政策専攻」「観光ツーリズム専攻」「グローバルコミュニケーション専攻」があります。

浜松市の地域課題を学び、地域課題に取り組むための学術的及び実践的知識と技術を身につけ、社会の幅広い領域で活躍できる人材となるために学びます。学科カリキュラムは現代の社会状況を踏まえ、学生自らの興味と関心に応じて科目を選択し、将来のキャリアと自分の生き方を関連付けて学ぶことが出来るようになっています。

【取得可能な資格】

中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状

【教育課程内で取得支援する資格・検定】

公務員試験、国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者、観光コーディネーター、社会保険労務士行政書士、通関士、TOEIC、IELTS、マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）、ITパスポート、地域マイスター※指定された地域課題科目を履修すると、浜松学院大学と浜松商工会議所等により認定

就職先一覧

子どもコミュニケーション学科

浜松市立小学校、東京都立小学校、静岡県立特別支援学校、浜松市立幼稚園、磐田市立幼稚園、湖西市立幼稚園、浜松市立保育所、磐田市立保育所、袋井市立保育所、アソカ学園、相生学園、浜松平和学園、浜松児童福祉園、愛恵保育園、葵ヶ丘保育園、明和会、あそび学園、ずだじこども園、浜松学院大学付属愛野こども園、聖隷福祉事業団、天竜厚生会 他

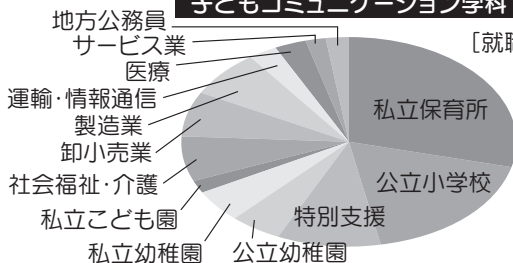
地域共創学科

浜松信用金庫、遠州信用金庫、みずほフィナンシャルグループ、遠鉄観光開発、呉竹荘、浜松日産自動車、一色機材、安心堂、静岡県立高等学校、浜松市立中学校、浜松学院中学・高校、静岡県警、愛知県警、浜松市消防局、遠州鉄道、とびあ浜松農業協同組合、遠州夢咲農業協同組合、ローランド、杉山メディアサービス、NOK、やまと興業、ヤタロー 他

就職データ

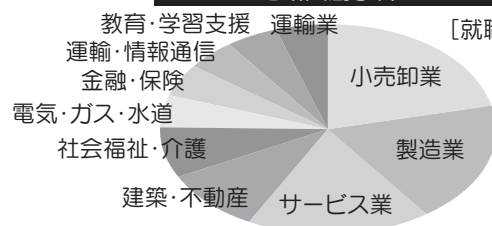
子どもコミュニケーション学科

[就職率100%]



地域共創学科

[就職率98%]



浜松学院大学短期大学部

浜松市中区住吉2丁目3番1号 TEL 053-473-6100 FAX 053-473-6196

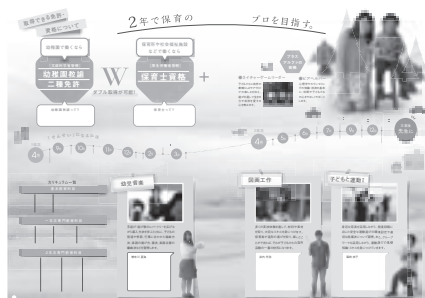
● 幼児教育科

『子どもたちのために』

子どもとともに歩む

保育者を目指します』

1965年に幼稚園教員養成所を開設して以来、約50年にわたって、優秀な幼児教育・保育の専門家を送り出してきました。長年にわたって培ってきた教育プログラムと、地域の保育活動に貢献する数多くの卒業生の存在など、確かな礎の上に立つ保育者養成校としての高い評価をいただいています。



また、キャンパスの近くには付属幼稚園、袋井市愛野には付属愛野こども園があります。実習はもとより日常的に子どもや保護者の方々と接することで、学生のうちから生きたコミュニケーションを学び、幅広い体験を積むことができます。

就職支援では、学生の希望と適性を見極めた支援を行い、成功をサポートしています。1年生4月の就職ガイダンスから始まり、作文やピアノ対策など、就職試験に直結する実践的な指導を行う「就職講座」を定期的に開催しています。その結果、高い就職率を実現しています。

短期大学部では、2年間で幼稚園教諭二種免許状、保育士資格を取得することができるので、早く社会に出て活躍したい人には最適です。

【取得可能な資格】

幼稚園教諭二種免許状、保育士、ピアヘルパー、ネイチャーゲーム・リーダー

スカラシップ給付制度

入試結果および在学中の学業成績による給付制度があります。

スカラシップⅠ類…授業料半期分給付(2年間)
スカラシップⅡ類…入学後に入学金相当額を給付
特別給費生制度…2年進級時、成績優秀者に10万円給付

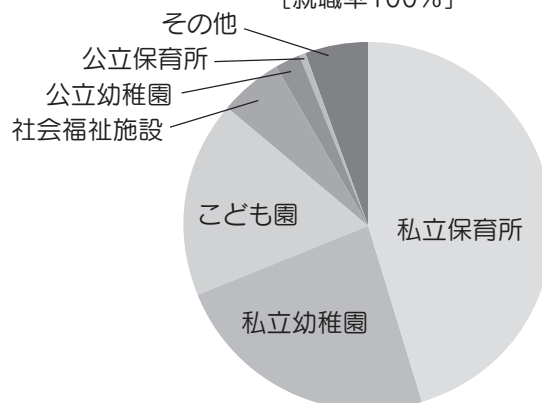
就職先一覧

幼児教育科

浜松市立幼稚園、磐田市立幼稚園、相生学園(相生幼・天王幼)、青葉幼稚園、あすなろ幼稚園、アソカ学園、蒲幼稚園、北浜幼稚園、くるみ幼稚園、志都呂幼稚園、早出幼稚園、宝学園(入野幼・佐鳴台幼)、湖東幼稚園、萩丘幼稚園、浜松平和学園、浜松学院大学付属幼稚園、ひくま幼稚園、葵ヶ丘保育園、さざんか保育園、シオン会、聖隷福祉事業団、たんぽぽ保育園、ちゅうりつ保育園、天竜厚生会、なのはな保育園、はあもにい保育園、浜松児童福祉園、ハロー保育園、ひまわり保育園、広瀬保育園、みどり保育園、都田保育園、いずみこども園、市野与進こども園、入野こども園、太陽第二こども園、なかざわこども園、浜松学院大学付属愛野こども園、平和こども園、光明学園、天竜病院、東遠学園、浜松乳児園、他

就職データ

[就職率100%]



大学生活という限られた時間を最大限に生かす

長期学外学修プログラム

浜松学院大学の新たな取り組み

2016年、地域課題をテーマに、

学外フィールドでの活動や学修を約一ヶ月にわたって行う

長期学外学修プログラムがスタート！

長期学外学修期間を設定する意図

本学の「大学教育再生加速プログラム」においては、長期学外学修期間（ギャップイヤー）を設定し、地域とのつながりから学生のコミュニケーション力を養うという、教育上の課題が設定されています。

長期学外学修期間を今回新たに設定した理由として、本学の学生が抱える以下のような問題が挙げられます。①現行カリキュラムの中で提供されている実践（活動）の場が、放課後や週末などの短期に限定される、②自宅通学が大半を占めており、自立のための生活経験・生活スキルが不足している、③地元出身かつ地元での就職希望が62%と高いため、行動範囲が狭く、他地域や異文化への関心が低い、の3点です。

このため、一定期間地元や自宅を離れ、生活を自己管理しながら、学生にとって新しい経験をする学習機会の提供が求め

られています。本学は、これらの課題に応えるために、学年歴の8月および2月を学外学修期間として設定しました。

長期学外学修プログラムにおけるフィールドの特徴

長期学外学修期間は、全ての学生を対象にしています。長期学外学修期間を自覚し、より積極的に活用できるよう、本学は長期学外学修プログラムを設定しています。そのプログラム実施のフィールドとして、とりわけ次の2つのフィールドを用意しました。

一つは、地域共創学科が主体となつて活動する、北遠地域（浜松市北部）です。北遠地域は過疎化に悩む中山間地域である一方、自然と共生する生活文化・慣習が根強く残る地域であり、今後の社会のあり方を考える上で学べきことの多い地域です。地域共創学科の学生で、中山間地域の出身者は17%に過ぎず、都市部

での生活経験や興味関心しか持っていないという状況があります。したがって、浜松市の中山間地域に足を運ぶ機会を設ける必要があります。

もう一つは、子どもコミュニケーション学科が主体となる、フィリピン共和国ダバオ市です。浜松市には、ブラジル人に次いでフィリピン人が多く在住しています。こうした浜松市の現状を踏まえ、日系人の多いフィリピン共和国ダバオ市を訪問し、現地の歴史や文化に対する理解を深めることで、浜松市という学生が普段暮らす地域をグローバルな視点から振り返ることが出来ます。くわえて、ダバオ市の現地の公立学校（幼稚園や小学校など）と日系人学校で学生が子どもた

ちとともに活動する機会を作り、日本とは異なる環境で育つ子どもたちの暮らしや学びについての理解を深めていきたいと考えています。

取り組みの可視化・成果

長期学外学修プログラムを実施する上で、その成果は逐一可視化され、大学から社会に広く発信されます。

まず、学外学修期間を通じて、学生は日々の経験や活動を双方向性メディア（SNS）を通じて発信します。こうした発信を通じて、学生のメディア・リテラシーを養うのももちろんのこと、学外学修活動をより広く、かつタイムリーに社会に発信し交流することを目指します。

さらに、成果報告会を実施します。この成果報告会には、学外学修活動でつながりをもった方々を含め、広く一般公開で報告を行うことで、大学教育の現状や学生の成長の様子を共有し、大学―学生―地域間の連携を醸成し、地域に根差した大学のあり方を追求していく意図がこめられています。

このような取り組みの可視化を通じて、大学教育の現状や学生の活動を一方的に発信するだけでなく、長期学外学修プログラムに対して関係者や地域の方々から直接意見をいただき、それをもとに、学長が強いリーダーシップを発揮することで、本学全体の教育活動に反映させることが可能になります。本事業の成果として、地域の声を生かした大学教育の展開をめざし、全学的な教学マネジメントの強化を達成します。



1年次の8月という大学生活の早い時期に、日常生活圏から離れて、フィールドスタディをおこなうことにより、社会の状況に対して関心と問題意識を持ち、一人ひとりの学生が大学で学ぶ目的を明確化します。

学ぶ×海外

ダバオ（フィリピン）

子どもコミュニケーション学科対象

このプログラムでは、フィリピンの南部にあるダバオ市に、約一ヶ月間滞在し、現地の幼稚園、小学校、特別支援学級などを訪れます。そして、授業参観をしたり、子どもたちと一緒に学んだり、遊んだり、先生と話をしたりします。語学（英語）を学ぶ時間もあります。

現在、日本には、中でも浜松には多くのフィリピン国籍の子どもたちが生活し、学校等で学んでいます。ダバオ出身

の子どももいます。その子どもたちがどのようなところで生まれ、育ち、生活し、そしてどのようなことを学んでいるのか、子どもたちと同じ空気を吸いながら、同じ時間を過ごします。

また、フィリピンと日本は、歴史的にも深い繋がりがあります。その歴史的な背景に触れながら、道の文化や生活を体験し、知ることによって自分から何を大学で学ぶべきか、その目的を考える機会になるでしょう。

◆連携先等について

ダバオ市の教育を担っているダバオ市教育局と協定を締結し、連携しながら実施します。プログラムの中では、日本領事館、ダバオ市長オフィスへの表敬訪問も予定しています。さらに現地の小学校、スペシャル・スクール（小学校・特別支援学級併設）、日系人会幼稚園等を訪れ、研修を行います。

フィリピン教育省と協定を締結

昨年11月より、7ヶ月の交渉を経て、6月8日にフィリピン共和国教育省と本学はAP（大学教育再生加速プログラム）事業の実施に関する協定を締結しました。

事業実施者として、本学学長とフィリピン共和国教育省ダバオ教育局総監が調印式に臨みました。

本学、教育省ともAP事業の実施を通して、本学の学生が異なる文化を理解し、視野を広げることが目的ですが、今後は本学とフィリピン共和国教育省の双方の



その教育力や研究力を向上していくことも期待されます。

学ぶ×国内

北遠地域（浜松市天竜区春野町）

地域共創学科対象

地域共創学科では、夏休みの期間を利用して、北遠地域である浜松市天竜区春野町の勝坂集落に山村留学します。

勝坂集落で暮らす人達と交流しながら、中山間地域の課題を理解し、その課題への具体的な方策を検討します。

3専攻のフィールドとしての

春野町勝坂集落

地域共創学科の学生は、1年の後期には、地域政策・観光ツーリズム・グローバルコミュニケーションの専攻に別れます。春野町勝坂集落での学びは、それぞれの専攻により、テーマがちがいます。

【地域政策専攻】

地域政策は、地域社会が抱える多くの問題をどのようにとらえ、いかなる方向の解決策がありうるかを研究します。春野町勝坂集落は、地域政策を学ぶ上でのフィールドとなります。

【観光ツーリズム専攻】

観光ツーリズムでは、地域に暮らす人々と交流を求めて訪れる旅行者を結びつけ、それにより織りなされる相互作用的なプロセスによる成果や現象を研究します。

春野町勝坂集落は四百年も続く「勝坂神楽」（かつさかかぐら）で名高く、豊かな自然に囲まれています。このような観光資源を受け継ぎながら、新たな形で発信していくための学びのフィールドと



なります。

【グローバルコミュニケーション専攻】

グローバルコミュニケーションは、グローバル化が進むことで、これまでのような国や地域を越えて、多複合的で多様なネットワークが構築されている現象を検証・分析します。勝坂集落は、浜松市内外の外国人に、広くその魅力的な観光資源をSNSを活用し、英語で発信していく学びのフィールドとなります。

◆北遠地域について

北遠地域（春野・佐久間・水窪・龍山地域をいう）は、浜松市の北端に位置し、大部分が南アルプス赤石山系に属する、豊富な森林資源に恵まれた急峻で起伏に富んだ山間地である。

地域共創学科 特別講義

一般の方々へ公開しています。

学生とともに様々な地域の問題に耳を傾けてみませんか。

大学とは、勉学に加え出会いや見聞を広げる貴重な場です。それは学生に限ったことではなく、大学に関わる全ての方、広く地域にいらっしゃる一般の方々にとっても同様であると考えます。

そこで、地域との連携に積極的に取り組む本学の授業は、この度一部を地域の方々に公開いたします。

公開される講座は、浜松地域の各界のリーダー・有識者の方々が、自分の理念、経営哲学、浜松地域の特性、将来への課題、そして未来を担う若者に伝えたいことを熱く語る『特別講義』です。

同窓生の皆様はもちろん、どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご受講ください。

	日 程	講師名	
1	10/3	大須賀正孝	浜松商工会議所会頭
2	10/17	植田基靖	天竜浜名湖鉄道(株) 取締役社長
3	10/24	鈴木 誠	P C ガーベラ
4	10/31	辻 琢磨	403architecture{dajiba}
5	11/7	井出あゆみ	浜松男女共同参画推進協会理事長
6	11/21	山崎貴裕	春華堂
7	11/28	鳥居大資	鳥居食品株式会社 取締役社長
8	12/5	大平展子	NPO 法人夢未来くんま 副理事長
9	12/12	龍潭寺	武藤宗甫
10	12/19	浜松市国際課	(石塚良明課長)
11	12/26	鈴木知悠 鈴木陽一郎	+ tic

各回、10時30分までに大学事務室にて受付をお願いします。

各回とも、事前申込は不要です。

どの回に参加しても、何回参加しても構いません。

※駐車場の台数は限りがございます。公共交通機関をご利用下さい。

浜松市長の特別講義

5月30日、鈴木康友浜松市長を特別講師にお迎えして、特別講義を行いました。テーマは「地域創生に向けた市の挑戦」。鈴木市長は学生や学校関係者など約60名の受講生に、これからの地方自治体のあり方や、その実現とさらなる発展の為に浜松市が取り組んでいる具体的な事業について説明し、これからの地域社会を担っていく学生たちに「危機感の問題意識を持って、浜松を変えていって欲しい。これからは、あなた達の時代です」と熱く語りかけました。



大学・短期大学部のイベント案内

浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 大学祭

共創祭

平成28年11月12日(土)・13日(日) 於：浜松学院大学

浜松学院大学の大学祭は「共創祭」といいます。

「共創」とは人と人とのつながりや出会いから生まれる新しい創造力。共創祭は本学の学生だけのイベントではなく、他大学、高校、地域の方と共に創り、参加し、楽しむ大学祭なのです。同窓会も毎年模擬店を出店し、共創祭を盛り上げています。

主な催し物

- ・展示 DiCoRes ミュージアム
(子どもコミュニケーション学科企画・子ども向イベント)
地域交通サークル(鉄道研究)、創造サークル
陶芸作品展示・即売
- ・演舞 よさこいサークル遠州舞遊連、演劇サークル、エイサー等
- ・模擬店 同窓会も出店予定
- ・受験希望者を対象とした「入試個別相談会」(共創祭開催時間中、随時応じます)

同窓生の方のご来場をお待ちしております。

※詳細は追ってHPにて紹介されます。



※写真は、ザザシティ浜松が会場となった昨年のものです。



浜松学院大学短期大学部

子どもフェスティバル

平成28年10月30日(日) 10:00～

於：浜松学院大学短期大学部

学んだ成果を地域の子どもたちに発信する学生主体の交流イベントです。毎年秋、地域の子どもたちをキャンパスに招待して開催します。

今回で46回目になるハマタンの伝統あるイベントは、日頃の学びの成果を確かめる場でもあります。

企画から準備、運営まで学生が主体となって取り組みます。手作り感あふれるハートフルな演出はみなさまに大好評です！



表現活動研究発表会

平成29年1月14日(土) 13:00～(開場) 13:30～(開演)
於：Uホール(浜松市勤労会館)

本年度、「表現活動研究発表会」は30回目を迎えます。

これは、幼児教育科の表現系ゼミナールが卒業研究の一端を発表するものとして、毎年開催されているものです。



〔同窓会役員名簿〕

〔会 長〕

伊 藤 安 男 (商Ⅰ 21回)

〔副会長〕

島 田 隆 (商Ⅰ 22回)

川 島 多 賀 子 (幼Ⅰ 3回)

山 本 陽 子 (幼Ⅰ 8回)

〔常任理事〕

曾 布 川 初 市 (商Ⅰ 1回)

鈴 木 僕 稔 (商Ⅰ 3回)

坂 田 繁 (商Ⅰ 17回)

堀 内 陽 吉 (商Ⅰ 26回)

三 沢 芳 弘 (商Ⅰ 27回)

野 澤 貴 士 (商Ⅰ 28回)

天 野 弘 美 (商Ⅰ 34回)

宮 地 暘 (商Ⅱ 1回)

永 田 敏 夫 (商Ⅱ 10回)

加 茂 さ よ 子 (商Ⅱ 28回)

中 村 さ ち 子 (幼Ⅰ 2回)

伊 藤 道 子 (幼Ⅰ 5回)

菊 地 美 香 (幼Ⅰ 25回)

渡 辺 亜 希 (幼Ⅰ 26回)

青 山 ひ ろ 子 (幼Ⅱ 5回)

大 高 恵 美 子 (幼Ⅱ 26回)

横 原 佑 太 (子Ⅱ 3回)

〔理 事〕

加 藤 正 夫 (商Ⅰ 4回)

日 山 泰 秀 (商Ⅰ 5回)

大 石 睦 子 (商Ⅰ 6回)

氏 原 道 雄 (商Ⅰ 13回)

石 津 佐 一 郎 (商Ⅰ 14回)

藤 田 成 孝 (商Ⅰ 16回)

横 井 茂 (商Ⅰ 18回)

水 野 等 (商Ⅰ 20回)

杉 山 道 郎 (商Ⅰ 22回)

一 瀬 誠 (商Ⅰ 24回)

山 本 絹 枝 (商Ⅰ 29回)

高 橋 良 正 (商Ⅰ 29回)

和 久 田 政 子 (商Ⅰ 31回)

鈴 木 一 吉 (商Ⅰ 35回)

藤 井 利 和 (商Ⅰ 38回)

小 松 征 夫 (商Ⅱ 2回)

鈴 木 勝 勝 (商Ⅱ 4回)

坪 井 勝 俊 (商Ⅱ 4回)

野 末 和 男 (商Ⅱ 6回)

平 野 由 久 (商Ⅱ 6回)

加 藤 憲 於 (商Ⅱ 13回)

永 田 雅 大 (商Ⅱ 30回)

渡 辺 修 (商Ⅱ 31回)

川 嶋 幸 子 (幼Ⅰ 6回)

宮 下 明 菜 (幼Ⅰ 40回)

河 野 愛 (幼Ⅰ 41回)

平 野 千 晶 (幼Ⅰ 43回)

谷 元 美 和 子 (幼Ⅰ 45回)

酒 井 侑 季 奈 (幼Ⅰ 46回)

中 野 雅 章 (幼Ⅰ 47回)

鈴 木 結 衣 (幼Ⅰ 48回)

太 田 佐 登 子 (幼Ⅱ 15回)

小 澤 仁 (現Ⅱ 1回)

元 井 和 久 (現Ⅱ 2回)

近 藤 伊 代 (現Ⅱ 3回)

森 山 千 裕 (現Ⅱ 4回)

森 山 達 也 (現Ⅱ 4回)

杉 浦 未 来 (現Ⅱ 5回)

宮 本 薫 (現Ⅱ 5回)

和 久 田 友 之 (地Ⅰ 1回)

森 龍 馬 (地Ⅱ 2回)

鈴 木 は る か (地Ⅲ 3回)

井 上 晃 成 (地Ⅳ 4回)

建 部 光 由 (子Ⅱ 1回)

馬 渕 文 香 (子Ⅱ 1回)

押 木 留 奈 (子Ⅱ 2回)

熊 切 祐 子 (子Ⅱ 2回)

佐 山 竜 一 (子Ⅲ 4回)

新 村 彩 華 (子Ⅲ 5回)

小 倉 実 樹 (子Ⅲ 6回)

〔監 事〕

早 田 利 之 (商Ⅰ 12回)

氏 原 章 博 (商Ⅰ 13回)

〔顧 問〕

花 井 達 藏 (商Ⅰ 7回)

大 村 弘 司 (商Ⅱ 1回)

高 林 勇 弑 (商Ⅱ 1回)

吉 川 彰 (商Ⅱ 4回)

〔特別顧問〕

岡 本 護 (商Ⅱ 4回)

〔掛川支部長〕

鈴 木 洋 司 (商Ⅰ 18回)

〔掛川副支部長〕

久 保 田 ま さ え (幼Ⅰ 5回)

萩 田 千 鶴 子 (幼Ⅰ 5回)

〔掛川支部会計〕

増 田 芳 弘 (商Ⅰ 27回)

同窓会活動の紹介

本同窓会は、会員の親睦や連携を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的として活動しております。

年1回の総会・懇親会の開催、会報「同窓会だより」の発行、5年に1度の会員名簿の発行、ホームページの開設などにより、会員相互の親睦を図ることはもとより、奨学金事業をはじめ、学園祭への模擬店参加や助成、卒業生に対する証書ファイルの寄贈、卒業パーティーへの補助、卒業した年に開催する総会・懇親会への無料招待など、在学生に対する支援活動も行っております。

平成27年には、大学布橋キャンパスに新体育館が完成し、この施設整備事業に同窓会として、何か力になれないかと検討し、体育館に必要な放送設備や椅子、ステージなどの寄付をさせていただいております。

また、入学式や卒業式など、大学の主な行事へは、会長をはじめとする役員が出席し祝詞を述べる機会をいただいておりますが、卒業式の終了後には、同窓会への入会式を行い、会長から卒業生に対して、同窓会への入会を歓迎し、また今後の活動への協力をお願いしております。このような同窓会の様々な活動が、より充実して進められるよう、次の3つの委員会を設置しています。

企画委員会

企画委員会は、総会・懇親会、その他の事業の企画、立案や運営を担当する委員会です。

委員長、副委員長、委員で組織され、毎年同窓会総会の企画立案を担当しています。懇親会での抽選会（全員に景品が当たるビンゴゲーム）や講演会、アトラクションなど、会員相互の親睦を図るとともに、総会に来てよかったと思っていただけの内容を企画しております。

今後、同窓会の活動をより多くの卒業生に理解していただき、同窓会総会に多くの卒業生が出席し、多くの人達が交流を持ち、みんなで母校を盛り上げていく、そんな企画立案をし、大学の発展につながる委員会を目指していきます。

会員組織委員会

会員組織委員会は、同窓会会員に関する問題や、同窓会組織や会則に関する問題について検討し、提案、改善を行うことを目的とした委員会です。

役割としては、組織、会則の見直しや、会員名簿の発行に関することで、この委員会制度の導入についても提案し、同窓会会則に盛り込みました。また、我が母校の発展に寄与するために、卒業生同士が親睦を深め、卒業生と学生、教職員の交流を図る場である同窓会総会に多数

参加していただくよう、理事不在の卒業年から、理事の選出をお願いしております。そのほか、5年に1度の会員名簿の発行業務を担当しております。

広報委員会

広報委員会は、同窓会の活動を広く会員の皆様にお知らせすることを目的とした委員会です。具体的な役割としては、年一回発行される会報「同窓会だより」の編集とホームページの運営です。「同窓会だより」発行の時期が近づいて来ると広報委員会の委員が集まり、掲載記事の選定や原稿の準備、紙面レイアウトの検討などを行います。原稿の依頼や確認など大変な仕事ですが、卒業生や大学の様々な情報に触れることができ、楽しみでもあります。

皆様の中で、こんな情報が知りたい、またこれを記事にしてほしい、という要望等がございましたら、直接事務局へまたはホームページを通じてお聞かせください。お待ちしております。

同窓会として会員の皆様のために、また母校の発展のために何ができるのか、会員の皆様とともに考え、活動を続けていくためには、多くの卒業生が会の運営に参画することが必要です。皆様の同窓会活動へのご支援を引き続きお願いいたします。

同窓会のホームページ

本同窓会の公式サイトを通じて同窓会の活動や、総会の案内などを積極的にお伝えしていこうと思っています。

浜松学院大学同窓会ホームページ

URL <http://www.hgu.ac.jp/dousoukai/>

奨学事業

浜松学院大学同窓会奨学金

本同窓会奨学金は、学業に対する取組みが積極的であり、かつ、経済的な理由により修学困難と認められる学生（入学予定者）に対し奨学金を貸与します。

1. 入学前貸与奨学金（300,000円貸与）
2. 緊急貸与奨学金（月額50,000円／6ヶ月貸与）

浜松学院大学同窓会会則 第1章 総則 (名称) 第1条 この会は、浜松学院大学同窓会という。 (目的) 第2条 この会は、会員相互の親睦を図り、浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学の隆昌発展に寄与することを目的とする。 (事業) 第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 会員名簿の発行 (2) 同窓会報の発行 (3) その他、この会の目的を達成するために必要な事業 (本部及び支部) 第4条 この会は、本部を浜松学院大学内に置き、支部を必要な地域に設ける。 第2章 会員及び客員 (会員) 第5条 この会は、次の資格を有するものを会員とする。 (1) 学校法人興誠学園の設置する浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学部及びその前身である浜松短期大学、浜松商科短期大学、興誠学園幼稚園教員養成所(以下「大学等」という。)を卒業、または課程終了したもの。 (2) 前号の大学等に1年以上在学したもので、理事会の承認を得たもの。	(客員) 第6条 この会は、次の資格を有する者を客員とする。 (1) 前条に示す大学等の教職員。 (2) かつ前条に示す大学等の教職員であつたもので、理事会の承認を得たもの。 第3章 役員 (役員の定数) 第7条 この会に、次の役員を置く。 (1) 会長 1名 (2) 副会長 若干名 (3) 理事 各科各部の卒業回数合計数に相当する人員以内とし、各回の同窓生を代表する。 (4) 常任理事 理事合計数の3分の1以内 (5) 監事 2名以上4名以内 (役員の選任) 第8条 役員の選任は、次により行う。 (1) 会長、副会長、及び監事は、理事会の議を経て、選任する。 (2) 常任理事は、理事会において選出する。 (役員の任期) 第9条 (1) 役員の任期は、3年とし、総会を以て終了する。但し、再選を妨げない。なお、補欠のため選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。 (2) 会長に関しては3選を認めない。 (役員の職務) 第10条 役員の職務は、次のとおりとする。 (1) 会長は、この会を代表	(顧問、及び特別顧問) 第11条 会長は、この会の重要事項を諮問するため、理事会の議を経て顧問、特別顧問を委嘱することができる。但し、任期は第9条を準用する。 (事務局) 第12条 会長は、この会の事務を処理するため、事務局を置く。 第4章 会議 (総会) 第13条 総会は、会員で構成し、理事会の決議事項を報告する。ただし、理事会が認めたときは、開催をとりやめることができる。 (理事会) 第14条 理事会は、会長、副会長、常任理事及び理事をもって組織する。但し、会長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。 2 (1) 理事会は、毎年2回以上開き、次の事項を決定する。 (1) 支部の承認	(常任理事会) 第15条 常任理事会は、会長、副会長及び常任理事をもって組織する。但し、会長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。 2 (委員会) 第16条 同窓会の事業を執行するため、「企画委員会」、「会員組織委員会」、「広報委員会」を置き、副会長及び常任理事、理事をもって組織する。また、必要に応じて新たな委員会を置くことができる。 2 各委員会の委員長は、原則として、副会長及び常任理事の中から会長が選任し委嘱する。 3 各委員会の委員は、必要に応じた人数とし、会長が会員の中から選任する。 4 各委員会は必要に応じて開き、次の事項について企画立案し理事会に諮る。 (1) 企画委員会…総会・懇親会、その他事業の企画立案、運営、予算作成 (2) 会員組織委員会…理事増員を図るため、その方法の考案と実践、及び会員名簿発行に関わる業務 (3) 広報委員会…総会開	(議事) 第17条 この会の議事は、すべて、出席した会員の3分の2以上の賛否をもって決定する。 第5章 会計 (経費) 第18条 この会の経費は、次の収入をもって充てる。 (1) 会費 (2) 寄附金 (3) その他の収入 (会計年度) 第19条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。 第6章 支部 (支部の結成) 第20条 会員は、理事会の議を経て地域別に支部を結成することができる。但し、支部は、一定の事務所を設け、組織を定めて役員を置かなければならない。 (本部への報告) 第21条 支部は、会員の住所、氏名及び職業並びに支部規則を本部に報告するものとし、その異動があつたときも同様とする。 第7章 補則 (規定にない細目) 第22条 この会則に規定のない細目は、理事会の議を経て会長が決定する。
--	---	---	---	--

附 則 昭和43年3月10日 制定 (臨時総会) 昭和43年5月3日 一部改正 (第1回通常総会) 昭和44年5月3日 一部改正 (第2回通常総会) 昭和45年5月3日 一部改正 (第3回通常総会) 昭和46年5月16日 一部改正 (第4回通常総会) 昭和59年5月27日 一部改正 (第17回通常総会) 昭和60年8月25日 一部改正 (第18回通常総会) 昭和61年8月24日 一部改正 (第19回通常総会) 平成2年8月19日 一部改正 (第23回通常総会) 平成5年8月1日 一部改正 (第26回通常総会) 平成8年8月11日 一部改正 (第29回通常総会) 平成10年8月29日 一部改正 (第31回通常総会) 平成18年4月8日 一部改正 (通常理事会) 平成20年6月27日 一部改正 (通常理事会) 平成25年6月20日 一部改正 (通常理事会)		注 昭和43年3月10日 制定	
浜松学院大学同窓会 掛川支部会則			
第1章 総則			
(名称) 第1条 この会は、浜松学院大学同窓会掛川支部という。			
(目的) 第2条 この会は、会員相互の親睦を図り、浜松学院大学の隆昌発展に寄与することを目的とする。			
(事業) 第3条 この会は、前条の目的を達成するために、本部の事業に協調する。			
第2章 会員及び客員			
(会員) 第4条 この会は、次の資格を有する者で掛川市に在住する会員とする。 (1) 学校法人興誠学園の設置する浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学部及びその前身である浜松短期大学、浜松商科短期大学、興誠学園幼稚園教員養成所(以下「大学等」という。)を卒業、または課程終了したもので、前号の大学等に1年以上在学したもので、理事会の承認を得たもの。			
(客員) 第5条 この会は、次の資格を有する者を客員とする。 (1) 前条に示す大学等の教職員。 (2) かつ前条に示す大学等の教職員であったもので、理事会の承認を得たもの。			
第3章 役員			
(役員の定数) 第6条 この会に、つぎの役員を置く。 (1) 支部長 1名 (2) 副支部長 若干名 (3) 理事 若干名 (4) 会計 1名			
(役員の選任) 第7条 役員の選任は、次により行う。 (1) 支部長、副支部長及び会計は理事会の議を経て選任する。			
(役員の任期) 第8条 (1) 役員の任期は、本部役員と同期間とし、再選を妨げない。 但し、補欠のため選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。 (2) 支部長に関しては、3選を認めない。			
(役員の職務) 第9条 役員の職務は、次のとおりとする。 (1) 支部長は、この会を代表し、会務を総理する。 (2) 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故がある時は、その職務を代理する。 (3) 理事は、理事会を組織し、会務を議決する。			
(顧問、及び特別顧問) 第10条 支部長は必要に応じて、理事会の議を経て顧問、特別顧問を委嘱することができる。但し、任期は第8条を準用する。			
第4章 会議			
(総会) 第11条 総会は、本部総会に参加すること、これに替える。			
(理事会) 第12条 理事会は、支部長、副支部長、会計及び理事をもって組織し、年2回以上開催する。但し、支部長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。			
(議事) 第13条 この会の議事は、すべて、出席した会員の3分の2以上の賛否をもって決定する。			
第5章 会計			
(経費) 第14条 この会の経費は、次の収入をもって充てる。 (1) 本部補助金 (2) 寄付金 (3) その他の収入			
(会計年度) 第15条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。			
(会計監査) 第16条 この会の会計監査は、本部監事の監査を年1回受けるものとする。			
(本部への報告) 第17条 支部は、会員の住所、氏名及び職業並びに支部会則を本部に報告するものとし、その異動があったときも同様とする。			
第6章 補則			
(規定にない細目) 第18条 この会則に規定のない細目は、本部及び理事会の議を経て支部長が決定する。 平成18年4月8日 制定(通常理事会) 平成20年7月25日 一部改正(通常理事会)			
附 則 1 この会則は平成4年1月26日から施行する。 平成20年7月25日 一部改正(通常理事会)			
浜松学院大学同窓会 ゴルフ会会則			
第1条 本会は浜松学院大学同窓会ゴルフ会(略称浜学同窓会ゴルフ会)と称する。			
第2条 本会はゴルフを通じて会員の健康増強と相互の親睦を図ることを目的とする。			
第3条 本会は浜松学院大学同窓会員及び興誠学園関係者のゴルフ愛好者をもって組織する。			
第4条 本会には会長をおく。会長は会員より選出する。本会の会長の任期は2ヶ年とし、再選を妨げない。			
第5条 本会は幹事をおく。幹事は優勝者及びブービー賞者の2名とし、会員各位への連絡事務・会計・次回開催の準備をする。			
第6条 プレー費用は各人の負担とする。			
第7条 会の運営は会員及び同窓会の補助金をもってする。但し会費は参加者よりその都度徴収する。			
第8条 ゴルフ競技会は年2回(春・秋)に開催する。			
第9条 競技方法はダブルペリア方式とする。但し協議のうえ他の競技方法とすることができる。			
第10条 賞は1位より3位迄及び参加賞とする。但し参加人員が3組以上になった場合には賞の範囲を広げることができる。			
第11条 同点者ある時は年令・ハンディキャップ順とする。			
第12条 競技は6名以上の参加をもって成立する。			
第13条 但し、ゴルフコースの都合により定員をもうけ、定員になり次第締切ることがある。			

平成27年度 収支決算書

(自 平成27.4.1 至 平成28.3.31)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
前年度繰越金	5,639,575	5,639,575	会議費	600,000	351,885
会員会費	2,904,000	2,796,000	懇親会費	250,000	220,540
祝儀	0	30,000	奨学費	600,000	0
預金利息	0	5,271	卒業パーティ助成金	200,000	200,000
奨学金回収	0	0	証書ファイル	250,000	140,508
名簿販売	0	0	慶弔費	200,000	133,458
総会剰余金	0	233,660	通信費	150,000	107,405
名簿作成剰余金	0	0	消耗品費	50,000	0
			学園祭関係費	150,000	118,800
			印刷費	30,000	15,120
			掛川支部運営費	50,000	50,000
			事務局費	100,000	100,000
			ホームページ関係費	150,000	108,864
			総会費用	1,000,000	0
			予備費	4,763,575	500,283
			次年度繰越金	0	6,657,643
合計	8,543,575	8,704,506	合計	8,543,575	8,704,506

監査の結果、いずれも適正且つ妥当であることを認めます。

平成28年4月13日

浜松学院大学同窓会

会計監査 早 田 利 之 ㊞

平成28年度 収支予算書

(自 平成28.4.1 至 平成29.3.31)

収入の部			支出の部		
科目	前年度決算額	予算額	科目	前年度決算額	予算額
前年度繰越金	5,639,575	6,657,643	会議費	351,885	450,000
会員会費	2,796,000	3,144,000	懇親会費	220,540	250,000
祝儀	30,000	0	奨学費	0	600,000
預金利息	5,271	0	卒業パーティ助成金	200,000	200,000
奨学金回収	0	0	証書ファイル	140,508	250,000
名簿販売	0	0	慶弔費	133,458	200,000
総会剰余金	233,660	0	通信費	107,405	150,000
名簿作成剰余金	0	0	消耗品費	0	450,000
			学園祭関係費	118,800	150,000
			印刷費	15,120	20,000
			掛川支部運営費	50,000	50,000
			事務局費	100,000	100,000
			ホームページ関係費	108,864	110,000
			総会費用	0	200,000
			予備費	500,283	6,621,643
			次年度繰越金	6,657,643	0
合計	8,704,506	9,801,643	合計	8,704,506	9,801,643

※科目間の流用を認めるものとする

財産目録

(平成28年3月31日現在)

普通預金	浜松信用金庫	8,860,657
	静岡銀行	878,075
	遠州信用金庫	38,911
	小 計	9,777,643
	平成27年度入学生会費 (260名分)	△ 3,120,000
	差引残高 (A)	6,657,643
定期預金	浜松信用金庫	(B) 500,000
		(B) 1,000,000
		(B) 1,000,000
		(B) 1,004,969
奨学金貸付金 (2名分)	(C)	224,000
合 計	(A+B+C)	10,386,612

上記の通り、収支および財産目録の報告をいたします。

平成28年4月21日

浜松学院大学同窓会

会 長 伊 藤 安 男 ㊞
副会長 島 田 隆 ㊞
同 川 島 多 賀 子 ㊞
同 山 本 陽 子 ㊞

平成28年度 教員一覧

浜松学院大学

管理職名	職名	氏名	専門分野
学長	教 授	石 田 勝 義	子ども家庭福祉、障がい児教育
現代コミュニケーション学部学部長	教 授	岩 見 良 憲	特別支援教育
子どもコミュニケーション学科学科長	教 授	坂 本 雄 士	教科教育（算数・数学教育）、教育方法学、教育心理学
地域共創学科学科長	教 授	津 村 公 博	英語教育学
図書館館長	教 授	大野木龍太郎	スポーツ社会学・スポーツ教育学・社会教育学（子どもの社会教育論）
附属愛野こども園園長	教 授	田 嶋 善 郎	精神保健、社会福祉
	教 授	川 口 雅 也	アメリカ文学、英語圏大衆文化
	教 授	高 久 新 吾	ピアノ・鍵盤楽器奏法、器楽合奏、音楽教育学
	教 授	田 中 健 二	観光ツーリズム、国際交流
	教 授	徳 増 幸 雄	地域政策
	教 授	戸 田 昭 直	ビジネス実務教育、ライフプランニング、簿記会計教育
	教 授	原 田 年 康	教育実践学
	教 授	的 場 啓 一	地方財政、地方自治、公共政策、少子化対策、男女共同参画
	准教授	荒 井 庸 子	発達心理学
	准教授	土 倉 英 志	社会心理学、認知心理学、質的心理学
	准教授	名 倉 一 美	保育、障害児保育、保育実践研究
	准教授	光安アパレシダ光江	国際開発、国際貿易、ブラジル経済、ポルトガル語、
	准教授	渡 部 い づ み	地域経済 産業論 特に浜松地域の地場産業研究
	講 師	池 谷 美 衣 子	教育学、生涯学習・社会教育学
	講 師	石 野 純 子	保育実践 発達支援保育
	講 師	浦 谷 淳 子	小学校英語
	講 師	小 山 内 秀 和	教育心理学、発達心理学
	講 師	笥 有 子	美術制作、美術・造形教育学、美術・造形実践研究
	講 師	勘 米 良 祐 太	国語教育史、文法教育、作文教育
	講 師	小 佐 々 典 靖	社会福祉学、障害者福祉学
	講 師	兒 島 佳 子	母子保健、子育て支援
	講 師	中 澤 幸 子	特別支援教育
	助 教	白 村 直 也	長期フィールドスタディ

浜松学院大学短期大学部

管理職名	職名	氏名	専門分野
短期大学部部長	教 授	弘 谷 多 喜 夫	教育史
幼児教育科科長	教 授	山 本 孝 一	教育工学
附属幼稚園園長	教 授	金 子 容 子	英文学・英国口承文芸・英米児童文学
	教 授	浅 井 潔	発達心理学、教育心理学
	教 授	今 井 昌 彦	教育学、教育工学、教育情報学
	教 授	亀 尾 恵 子	音楽・児童文化
	教 授	芳 賀 亜 希 子	乳幼児心理学
	教 授	若 杉 雅 夫	油彩画、石版画、幼児の造形教育
	准教授	坂 田 温 志	社会福祉学（障害者福祉、児童家庭福祉）
	准教授	志 村 浩 二	嗜癡行動学、神経心理学
	准教授	永 岡 和 香 子	音楽と動きの教育
	准教授	中 本 富 士 乃	音楽教育、音楽療法
	准教授	橋 爪 け い 子	保育
	准教授	松 澤 俊 行	健康、体育、野外教育

浜松学院大学短期大学部（浜松短期大学）における年次別学科別卒業生数

学科	商 科				幼 児 教 育 科				英語コミュニケーション科 (英語科)		全 体			
	第一部	第二部	合計	累計	第一部	第二部	合計	累計		累計	昼間部	夜間部	合計	累計
昭和28	① 84		84	84							84		84	84
29	② 61		61	145							61		61	145
30	③ 76		76	221							76		76	221
31	④ 74		74	295							74		74	295
32	⑤ 70		70	365							70		70	365
33	⑥ 38		38	403							38		38	403
34	⑦ 25		25	428							25		25	428
35	⑧ 18		18	446							18		18	446
36	⑨ 36		36	482							36		36	482
37	⑩ 29		29	511							29		29	511
38	⑪ 34	① 102	136	647							34	102	136	647
39	⑫ 57	② 92	149	796							57	92	149	796
40	⑬ 78	③ 126	204	1,000							78	126	204	1,000
41	⑭ 64	④ 118	182	1,182							64	118	182	1,182
42	⑮ 67	⑤ 133	200	1,382		① 55	55	55			67	188	255	1,437
43	⑯ 79	⑥ 122	201	1,583	① 16	② 63	79	134			95	185	280	1,717
44	⑰ 75	⑦ 106	181	1,764	① 50	① 77	127	261			125	183	308	2,025
45	⑱ 63	⑧ 112	175	1,939	② 53	② 129	182	443			116	241	357	2,382
46	⑲ 47	⑨ 90	137	2,076	③ 49	③ 124	173	616			96	214	310	2,692
47	⑳ 58	⑩ 96	154	2,230	④ 45	④ 130	175	791			103	226	329	3,021
48	㉑ 72	⑪ 109	181	2,411	⑤ 51	⑤ 129	180	971			123	238	361	3,382
49	㉒ 80	⑫ 90	170	2,581	⑥ 90	⑥ 167	257	1,228			170	257	427	3,809
50	㉓ 101	⑬ 98	199	2,780	⑦ 110	⑦ 188	298	1,526			211	286	497	4,306
51	㉔ 113	⑭ 103	216	2,996	⑧ 111	⑧ 187	298	1,824			224	290	514	4,820
52	㉕ 162	⑮ 136	298	3,294	⑨ 153	⑨ 221	374	2,198			315	357	672	5,492
53	㉖ 163	⑯ 91	254	3,548	⑩ 201	⑩ 154	355	2,553			364	245	609	6,101
54	㉗ 163	⑰ 97	260	3,808	⑪ 226	⑪ 172	398	2,951			389	269	658	6,759
55	㉘ 146	⑱ 79	225	4,033	⑫ 170	⑫ 117	287	3,238			316	196	512	7,271
56	㉙ 148	⑲ 45	193	4,226	⑬ 217	⑬ 73	290	3,528			365	118	483	7,754
57	㉚ 149	㉑ 44	193	4,419	⑭ 206	⑭ 50	256	3,784			355	94	449	8,203
58	㉛ 123	㉒ 42	165	4,584	⑮ 186	⑮ 32	218	4,002			309	74	383	8,586
59	㉜ 142	㉓ 45	187	4,771	⑯ 197	⑯ 29	226	4,228			339	74	413	8,999
60	㉝ 127	㉔ 30	157	4,928	⑰ 167	⑰ 33	200	4,428			294	63	357	9,356
61	㉞ 127	㉕ 23	150	5,078	⑱ 128	⑱ 23	151	4,579			255	46	301	9,657
62	㉟ 82	㉖ 17	99	5,177	⑲ 85	⑲ 22	107	4,686			167	39	206	9,863
63	㊱ 121	㉗ 22	143	5,320	㉑ 134	㉑ 34	168	4,854	① 90	90	345	56	401	10,264
平成1	㊲ 160	㉘ 31	191	5,511	㉒ 131	㉒ 47	178	5,032	② 94	184	385	78	463	10,727
2	㊳ 166	㉙ 37	203	5,714	㉓ 135	㉓ 23	158	5,190	③ 99	283	400	60	460	11,187
3	㊴ 158	㉚ 39	197	5,911	㉔ 134	㉔ 27	161	5,351	④ 140	423	432	66	498	11,685
4	㊵ 160	㉛ 48	208	6,119	㉕ 143	㉕ 31	174	5,525	⑤ 143	566	446	79	525	12,210

学科	商 科				幼 児 教 育 科				英語コミュニケーション科 (英語科)		全 体			
卒業年	第一部	第二部	合計	累計	第一部	第二部	合計	累計		累計	昼間部	夜間部	合計	累計
平成5	㊦ 164	㊧ 46	210	6,329	㊵ 143	㊶ 32	175	5,700	㊷ 129	695	436	78	514	12,724
6	㊸ 160	㊹ 67	227	6,556	㊺ 148	㊻ 51	199	5,899	㊼ 130	825	438	118	556	13,280
7	㊽ 159	㊾ 56	215	6,771	㊿ 148	㊽ 47	195	6,094	㊾ 120	945	427	103	530	13,810
8	㊿ 153	㊾ 59	212	6,983	㊿ 152	㊿ 50	202	6,296	㊿ 116	1,061	421	109	530	14,340
9	㊿ 152	㊿ 33	185	7,168	㊿ 141	㊿ 50	191	6,487	㊿ 99	1,160	392	83	475	14,815
10	㊿ 133	㊿ 34	167	7,335	㊿ 141	㊿ 46	187	6,674	㊿ 94	1,254	368	80	448	15,263
11	㊿ 120	㊿ 11	131	7,466	㊿ 137	㊿ 43	180	6,854	㊿ 95	1,349	352	54	406	15,669
12	㊿ 131	㊿ 20	151	7,617	㊿ 140	㊿ 34	174	7,028	㊿ 87	1,436	358	54	412	16,081
13	㊿ 119	㊿ 11	130	7,747	㊿ 139	㊿ 39	178	7,206	㊿ 67	1,503	325	50	375	16,456
14	㊿ 119	㊿ 13	132	7,879	㊿ 145	㊿ 32	177	7,383	㊿ 65	1,568	329	45	374	16,830
15	㊿ 99	㊿ 6	105	7,984	㊿ 132	㊿ 43	175	7,558	㊿ 46	1,614	277	49	326	17,156
16	㊿ 94	—	94	8,078	㊿ 129	㊿ 49	178	7,736	㊿ 61	1,675	284	49	333	17,489
17	㊿ 69	—	69	8,147	㊿ 127	㊿ 41	168	7,904	㊿ 45	1,720	241	41	282	17,771
18	—	—	—	8,147	㊿ 143	㊿ 47	190	8,094	—	1,720	143	47	190	17,961
19	—	—	—	8,147	㊿ 137	㊿ 27	164	8,258	—	1,720	137	27	164	18,125
20	—	—	—	8,147	㊿ 145	—	145	8,403	—	1,720	145	—	145	18,270
21	—	—	—	8,147	㊿ 146	—	146	8,549	—	1,720	146	—	146	18,416
22	—	—	—	8,147	㊿ 129	—	129	8,678	—	1,720	129	—	129	18,545
23	—	—	—	8,147	㊿ 127	—	127	8,805	—	1,720	127	—	127	18,672
24	—	—	—	8,147	㊿ 154	—	154	8,959	—	1,720	154	—	154	18,826
25	—	—	—	8,147	㊿ 146	—	146	9,105	—	1,720	146	—	146	18,972
26	—	—	—	8,147	㊿ 153	—	153	9,258	—	1,720	153	—	153	19,125
27	—	—	—	8,147	㊿ 142	—	142	9,400	—	1,720	142	—	142	19,267
28	—	—	—	8,147	㊿ 136	—	136	9,536	—	1,720	136	—	136	19,403
合計	5,468	2,679	8,147		6,568	2,968	9,536		1,720		13,756	5,647	19,403	

※ 幼児教育科のうち、昭和41年度、42年度はその前身である興誠学園幼稚園教員養成所

浜松学院大学における年次別卒業生数

学科	現代コミュニケーション学部 現代コミュニケーション学科		現代コミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科		地域共創学科		全体	
卒業年	卒業生数	累計	卒業生数	累計	卒業生数	累計	合計	累計
平成20	① 169	169					169	169
21	② 105	274					105	274
22	③ 102	376					102	376
23	④ 64	440	① 42	42			106	482
24	⑤ 39	479	② 44	86			83	565
25			③ 38	124	① 41	41	79	644
26			④ 44	168	② 38	79	82	726
27			⑤ 57	225	③ 44	123	101	827
28			⑥ 61	286	④ 37	160	98	925
合計	479		286		160		925	

ま ず は お 話 を き か せ て く だ さ い 。

私たちは、広告のプロフェッショナル集団です

APRIS E

WEB + 印刷 + マスメディア

地元で愛されて57年。

株式会社 アプライズ www.aprise.co.jp

本 社 〒430-0856 静岡県浜松市中区中島3-17-25 TEL.053(461)5581(代) FAX.053(461)5675

アプライズ

検索



明光電気株式会社

〒435-0041 浜松市東区北島町2 5 番地

TEL:053(421)4611

FAX:053(422)1187

<http://www.meikoh-me.co.jp>

街がかわる、街をかえる。



WE BUILD THE FUTURE.

RINKOH

SoftBank

ソフトバンク浜松中央

〒430-0901

浜松市中区曳馬6丁目20-1

TEL:053-478-5088

営業時間 AM10:00~PM8:00

定休日:なし

ソフトバンクサンストリート浜北

〒434-0041

浜松市浜北区平口2861

TEL:053-584-2250

営業時間 AM10:00~PM8:00

定休日:なし



テレニシ株式会社 東海支店
〒450-0001 愛知県名古屋市中村区新古野1丁目47番1号 名古屋国際センタービル15階
TEL:052-587-1117 FAX:052-587-1118 URL:<http://www.tele-nisi.co.jp/>

株式会社 林工組

<http://www.rinkoh.co.jp>

本 社 〒435-0036 静岡県浜松市南区渡瀬町1000-1 TEL 053-461-8853(代表)

FAX 053-461-8855

静 岡 支 店 〒422-8026 静岡県駿河区富士見台1-13-9 TEL 054-281-2085

磐田営業所 〒438-0074 磐田市二之宮38-2 TEL 0538-32-5365

掛川営業所 〒436-0017 静岡県掛川市杉谷2-2-20 TEL 0537-24-5855

豊橋営業所 〒441-8077 豊橋市神野新田町中島10 TEL 0532-45-9898

天竜山間地と都会をつなぐサポーターズ倶楽部

◇古民家再生プロジェクト◇

古民家の調査、保全、紹介

山暮ろ心倶楽部

浜松市天竜区大川 31-1 TEL 053-923-0188

国内旅行、海外旅行



(有)日本観光

島田 隆(商科一部22回卒)

〒430-0906 浜松市中区住吉五丁目20番16号

TEL(053)473-2143 FAX(053)473-9128

E-mail: nikkan-t@mail.wbs.ne.jp

FUJI XEROX

富士ゼロックス静岡株式会社

〒430-0928 浜松市中区板屋町 506 番地

TEL 053-455-3161 FAX 053-455-3771

ロ-タス伊藤車輛

(株)伊藤車輛

053-465-6262(代)

053-465-3535(代)

営業担当/島田 隆 (商科I部22回卒) 090-3385-7439



赤飯・折詰・弁当・料理仕出し

(有)味と泉

浜松店 〒432-8011 浜松市中区城北1-25-13

TEL(053)472-9623(代)

浜北店 〒434-0044 浜松市浜北区内野4257

TEL(053)586-5123(代)

FAX(053)586-6046

社員研修は私たちにお任せください。

地元浜松で優良な研修を提供する 株式会社 エスエスブレイン

〒430-0901 静岡県浜松市中区曳馬 6-25-36

TEL:053-474-3178 FAX:053-474-6855

E-mail:ss-brain@ss-brain.com http://www.123ssb.jp/

環境のリーディングカンパニー



〒430-0904 浜松市中区中沢町71番23号
電話(053)471-3421(代) FAX(053)472-4066(代)



代表 河守 恭一 (高28回卒)

〒432-8045 静岡県浜松市中区西浅田1-10-8
TEL(053)442-1200 FAX(053)442-6768

経営者のよき相談相手でありたい

東海浜松会計グループ 会長 内山隆司

(〒430-0946 浜松市中区元城町113-15)

税理士法人

東海浜松会計事務所

所長 竹内 一 登
TEL 053-455-2181

社会保険労務士法人

浜松労務管理事務所

所長 山崎 恵子
TEL 053-455-1003

静岡県知事免許(13)第2180号

宇野不動産株式会社

〒432-8023 浜松市中区鴨江四丁目2番17号
TEL 053-454-0711(代表) FAX053-455-2345
URL http://www.uno-re.com/
E-mail info@uno-re.com

浜松学院大学 かみかきこ！ 進路2分！



税理士・行政書士・宅地建物取引主任

近 藤 良 夫

〒432-8015 浜松市中区高町205-11
電 話 (053) 453-8707
F A X (053) 453-9350

学校用黒板、事務所用黒板、ホワイトボード
各種掲示板、看 板

有限会社 不二黒板製作所

〒430-0904 浜松市中区中沢町21番地9号
TEL(053)471-9010・FAX(053)472-2493

萬屋蒔蒔店

こんにゃく・ところ天 製造・卸

浜松市中区天神町5-12 TEL 053-461-1588
463-1572
FAX 053-489-9303

(株)西遠蒔蒔

卸・浜松中央卸売市場

浜松市南区新貝町239-1 TEL/FAX 053-427-7506



各種新車・中古車販売

車検・点検・修理・板金・塗装
あいおいニッセイ同和損害保険(株)代理店
中部陸運局認証工場



(株)佐上商會

浜松市東区丸塚町94-1 TEL(053)464-8158(代)
FAX(053)464-2272

普通・二輪免許を取るなら



遠鉄自動車学校

浜松市東区小池町1552 053-462-1221

RICOH・NEC・SHARP・AMANO
事務器・事務用品・スチール家具

有限会社 森 文

浜松市中区向宿3丁目9-4

TEL(053)461-1243 FAX(053)461-7248



かに料理

浜松甲羅本店

〒432-8023

浜松市中区鴨江2-49-20

TEL 053-456-0051



【徹底した衛生管理】強電解水殺菌システム導入

ご家庭・地域の皆様～事業所・オフィスまで
どちら様もお気軽にご相談・お電話下さい。

●幕の内弁当 ●仕出し料理 ●折詰料理
●オードブル ●洋食弁当 日替りお弁当
ご法事・お祝い・後会合・ご接待・行楽などに…

こだわりの
国産銘柄米
100%使用

！タウンページも
ご覧下さい
江戸松 検索

■定休日 月曜日 日曜日は前日までの予約注文のみ承ります
■営業時間 11:00～20:00(オーダーストップ19:30)

FAX053-453-8243 浜松市中区鰐塚3丁目8-39(鰐塚中学校前)

電話でのご予約は
24時間承ります。

053-453-8233

HGU 浜松学院大学短期大学部

第38回 夏季大学

【研修テーマ】「子ども支援と子育て支援を考える」

日時:平成28年7月30日(土) 9:50～15:30(9:30より受付)

会場:浜松学院大学短期大学部(静岡県浜松市中区住吉2-3-1)

- 受講料 1,000円(税込) 詳細はHP(<http://www.hgu.ac.jp/hamatan>)でご確認下さい。
- 申込締切日 7月31日(金)



【第一部 講演会】「保育の質を高めるために：子どもの育ちの支援」

あきた きよみ
東京大学大学院 教授 秋田 喜代美

保育の質を高めるために、国内外でどのようなことが今検討されているのでしょうか。第一には、海外での保育の質に関わるお話などをご紹介したいと思います。また第二には、私がかかわらせてもらい学ばせてもらった園の具体的な実践事例なども含め、皆さんと共に子どもたちの日々の保育の質がさらに豊かになるためには何が必要だろうかということを、一緒に考えてみたいと思います。

【第二部 講座】 ①「身近なものを使った音楽遊びを楽しみましょう」

聖セシリア女子短期大学 教授 大谷 純一

②「砂遊びから見る子どもの成長・発達と保育の課題」

同志社女子大学 教授 笠間 浩幸

③「得意なところは伸ばし、苦手なところは補いましょう」

－神経心理学から見た発達障がいの子どもの支援－

浜松学院大学短期大学部 准教授 志村 浩二

④「赤ちゃんの「こころ」は、いつ生まれるの?どうやって育つの?

－乳幼児観察セミナーの貢献－

前三重県臨床心理士会会長・くわな心理相談室主宰 鈴木 誠

②「「いのち」を守るためにできること」

浜松学院大学短期大学部 非常勤講師 山本 泰子

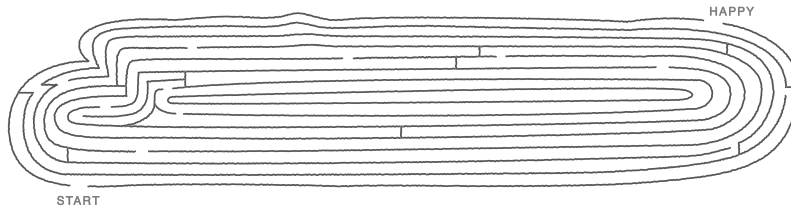
●申込み方法

右のQRコードを読み取り、夏季大学申込
専用ページから申し込んで下さい。
ホームページからも申込できます。



【問い合わせ】

浜松学院大学短期大学部 夏季大学実行委員会



浜名湖名産・夜のお菓子

抜け出せない美味しさ。

うなぎパイ

Print&Creation 広告する。

封筒や名刺などのビジネスツールから、チラシやDM、会社案内、カタログなどの印刷物をコーディネート。
貴重な経験と知識を基に、デザインから印刷までお手伝いいたします。
またWebサイトやECサイトの企画・制作もトータルでサポートいたします。



- ◆各種印刷
- ◆デザイン構築
- ◆webサイト構築

有限会社 アイエヌジー

〒432-8056 浜松市南区米津町1180
TEL.053-441-5839 FAX.053-441-5839

090-5859-3336

E-mail/ ing@joy.ocn.ne.jp
URL/www.ing-ok.com



取扱保険会社
A I U 損 害 保 険 会 社
東 京 海 上 日 動 火 災 保 険 株 式 会 社
東 京 海 上 日 動 火 災 保 険 株 式 会 社
損 保 日 本 興 業 株 式 会 社
大 同 生 命 保 険 株 式 会 社
メ ッ ト ラ イ フ 生 命 保 険 株 式 会 社
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社

浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部
学生総合保険 取扱代理店

株式会社 エマ

浜松市中区元目町129-10オーリットビル2F
TEL(053)474-8200(代) FAX(053)474-8231
URL:http://www.ema-hoken.com

栄電気工業株式会社

〒430-0947 浜松市中区松城町200番地の6(美術館前)
電話<053>454-8371(代) FAX<053>452-9351



理化学機器、消防、給排水、設備施工管理

局所排気(環境改善)、空調(省エネ)、冷熱・冷温、



ISO14001認証取得

〒435-0047 静岡県浜松市東区原島町204番地 tel 053-464-4014

躍進する NIKKO グループ

太陽光発電・省エネ・電気・通信・情報・ITV・テレビ共聴
地上波デジタル・消防設備及びメンテナンス

日興電気通信株式会社

本 社 浜 松 市 北 区 大 原 町 11 番 地 ☎(053)439-1125(大代) FAX(053)439-1135
静岡営業所 静岡市駿河区中野新田 57-60 ☎(054)266-6762(代) FAX(054)266-6763
東京営業所 東京都江東区社丹 1 丁目 15 番 5 号 ☎(03)6411-1771(代) FAX(03)6411-1772



事業内容

- ・システム開発/保守
- ・受託計算処理サービス
- ・情報機器販売

http://www.spc-si.co.jp

浜松市東区長鶴町158-1

TEL 053-461-1711

FAX 053-461-1721

お客様の未来とともに Be with your future

建築物・建造物の白アリ害虫駆除・清掃管理・清掃用品販売

株式会社サンワールド社

代表取締役 足立 清二 (商I部21回卒)

浜松市南区下飯田町209

TEL<053>426-1121 FAX<053>426-2178

携帯電話・事務機器・パソコン教室

ヤマサン商会

浜松市浜北区本沢合1069 TEL053-586-4133 FAX053-586-4380

パソコン特価で販売します。インターネット接続まで親切指導致します。



日本の祭り 氏原株式会社

浜松市東区神立町131-7 TEL 053-464-1234

E-mail omatsuri_ouendan@ujihara.co.jp



=== 地域社会に貢献する ===

視聴覚・情報通信・セキュリティ

電通システム株式会社

〒430-0853 浜松市南区三島町104-1

TEL 053-441-3911 FAX 050-3730-0882

http://www.dslab.co.jp



NPO 法人 雲を耕す会

理事長 大村 弘 司

天竜美林を再生し自然と環境を守る

〒433-8105 浜松市北区三方原町447-23

TEL & FAX 053-436-5221



D-HEARTS

D-HEARTS・PLE葉WALK浜北店

〒434-8502 静岡県浜松市浜北区貴布祢1200番地 PLE葉WALK浜北114 tel・fax 053-585-7114

D-HEARTS・ららぽーと磐田店

〒438-0801 静岡県磐田市高見丘1200 ららぽーと磐田店1F tel・fax 053-38-4095

D-HEARTS・半田山店

〒435-0052 静岡県浜松市東区半田山6-8-1 tel・fax 053-432-2212 木曜定休

Pipe & Fitting 水道・空調配管材料
Bronze Aluminum etc. 非鉄金属

&&& 専門問屋 &&&

To the future Since 1927

分 (株) 林 角 本 店

<http://www.hayashikaku.co.jp>

SPiC Salonは美と癒しと健康の「和」を楽しんで頂くサロンです。



電話予約優先 浜松市西区雄踏町宇布見5147-1

☎ 053-596-0103 ☎ 0120-160103

建築設計、監理



株式会社 ニキ計画工房

代表取締役社長 小 木 一 夫

浜松市中区曳馬五丁目24-50

TEL (053) 474-7640

FAX (053) 475-2175

かんぱん



TEL 461-1945

www.kiyoshi.jp



静岡県 セイブ自動車学校

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町2510

TEL 053-485-5511 FAX 053-485-2500



静岡県 セイブリフトスクール

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町2510

TEL 053-485-5972 FAX 053-485-5973

URL <http://www.kenseibu.co.jp>



ISO 9001 : 2000

丸明建設株式会社

代表取締役 井 谷 安 秀

袋井市高尾町6番地の21 TEL (0538) 43-2221 FAX (0538) 43-2226

URL <http://www.marumei.co.jp/>

YAKINIKU CUISINE

サロ

浜松市中区住吉1-4-16 ☎ 053-474-7427



Nail salon Nagi

- ネイルケア (45分) ¥3,000~
 - カラーリング (30分) ¥1,500~
 - ジェル (手足同一料金) ¥4,000~
 - アート (1本) ¥ 200~
- (+消費税)

【営業時間】

平日 9:00~16:30

土・祝祭日 9:00~17:30

日 定休日

TEL&FAX

053-458-9229 (予約優先)

浜松市中区砂山町324-10

福ビル3F(1Fモスバーガー)



地域の式場

お通夜から、ご葬儀まで…

浜松葬儀では、経験豊富な「厚生労働省認定資格取得/葬祭ディレクター」が、責任を持ってお世話致します。

お通夜・ご葬儀から法要まで、利便性に富んだ14の会場から、お選びいただけます。

はまそう会館 北東三方町 天上界 ☎053-437-1231	はまそう会館 中区高丘北 高 丘 ☎053-420-4444	はまそう会館 中区向宿 浜松南 ☎053-411-4444	はまそう会館 中区曳馬 曳 馬 ☎053-476-4444	はまそう会館 東区篠ヶ瀬町 篠ヶ瀬 ☎053-423-4444	はまそう会館 東区半田山 半田山 ☎053-439-0964	はまそう会館 中区富塚 富 塚 ☎053-478-4444
はまそう会館 中区森田町 森 田 ☎053-451-4444	はまそう会館 西区志都呂 志都呂 ☎053-448-4444	はまそう会館 西区志都呂東 志都呂東 ☎053-445-4444	はまそう会館 北区細江町 細 江 ☎053-522-4444	はまそう会館 北区引佐町 引 佐 ☎053-542-4444	はまそう会館 西区館山寺町 館山寺 ☎053-487-4444	はまそう会館 東区笠井町 笠 井 近日オープン予定



浜松葬儀株式会社

浜松市北区東三方町76

URL: <http://www.hama-so.co.jp>

TEL(053)437-1231

建 築 土 木
MARUISHI ITO

県知事許可 第9912号

代表取締役 伊 藤 正 康

有限会社 丸石伊藤建設

〒435-0006 浜松市東区下石田町1782

TEL (053) 421-2686

FAX (053) 421-2753

E-mail: maruishi-ito@po4.across.or.jp



呉竹荘

〒432-8036

静岡県浜松市中区東伊場1-1-26

TEL 053-453-1511

FAX 053-456-0897



CROSSDEVICE

株式会社 クロスデバイス

各種販促ツール

Webコンテンツの企画・制作

TEL:053-478-3388 FAX:053-478-3311

URL: <http://www.crossdevice.co.jp>

小籠包のうまい店

中 国 料 理

華 都

・ ・ 食べに来て ・ ・

浜松市中区住吉3-12-1 TEL 4-74-0132

「あんなコトからこんなコトまで」

私たちはお客様の期待に応えるプロフェッショナルです。まずはご相談を。

「そうだ、桐屋に聞こう。」

【取り扱い品目】

一般伝票・連続伝票・OCR・会社案内・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・取扱説明書

DM・封筒・社内報・オンデマンド印刷・シール・ステッカー・ナイロン・ファイル・のぼり・看板・布印刷・シルク印刷

新聞広告・雑誌広告・ホームページ制作・運営・ラジオCM・CD制作・DVD制作・POP・ロゴ・パッケージ・広告の立案・制作・デザイン

桐屋印刷株式会社

〒432-8056 静岡県浜松市南区米津町1181

TEL. 053-441-4526 (代) FAX. 053-441-7809

URL <http://www.kiriya.co.jp>



浜松学院大学教育後援会からのお知らせ

平成16年4月の浜松学院大学の開学に合わせて、「浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 教育後援会」が発足し、同窓会員のみなさまから多くの会費、寄付金を頂戴いたしました。その資金は、開学の際に必要な設備購入のために使用され、備品として大学に寄付させていただいております。

その後、教育環境整備のための支援を主な目的として、同窓会員を正会員とする後援会組織と、在学生に対する教育支援を目的とする保護者会組織を分け、現在に至っております。この機会をお借りして卒業生のみなさまにご報告させていただく次第です。

本会は、浜松学院大学の教育方針に則り、教育活動及び教育環境の整備をもって大学の教育成果の向上に寄与することを目的とし、その目的を達成するために次の事業を行ってまいります。

- (1) 教育に関する研究調査
- (2) 学生教育の振興に関する事業
- (3) 本大学の地域社会貢献に関する事業
- (4) その他必要と認めた事業

また、本会は次の会員をもって組織し、会費の納入をもって会員とします。

- (1) 正会員 本大学の卒業生（同窓会員と認められた者）
- (2) 準会員 興誠学園の役員
- (3) 特別会員 大学に勤務する教職員
- (4) 賛助会員 本会の趣旨に賛同する者
- (5) 協力会員 本大学に在籍する学生の保護者

同窓会員のみなさまには、是非とも母校発展のため、教育後援会会員としてご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

浜松学院大学教育後援会 会長 大村 弘 司

※ 事務局からのお願い

※ 上記の趣旨に賛同していただける方は、郵便振替払込書にて会費の納入をお願いしております。

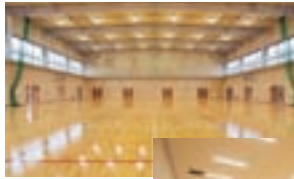
- ・ 会費 1口 5,000円（できるだけ2口以上の納入をお願いいたします。）
- ・ 会費の納入をもって会員として登録させていただきます。

※ ご協力いただける方は、別紙郵便振替払込用紙に住所、氏名等をご記入いただき、本日総会・懇親会終了後のお帰りの際に受付までお申し出ください。
後日ご入会いただける場合は、ご面倒でも郵便局にてお支払いください。

※ お問い合わせ先

浜松学院大学教育後援会事務局（浜松学院大学内） 電話（053）450－7000

布橋キャンパスに新体育館が完成



2016年春、布橋キャンパスに新体育館が完成しました。

すっきりとした黒い外観に、内部は木材を多用した明るくあたたかな雰囲気メインアリーナ。2階にはダンスなどの練習にも十分な広さの多目的ホールを備えています。もちろん更衣室、シャワールーム等の設備も充実しています。

同窓会では、新体育館の落成にあわせ放送設備・可動式ステージ・スタッキングチェアなどを寄贈いたしました。

この春の卒業式、入学式は新体育館で執り行われました。今後、こうした学校行事の他、通常の授業やサークル活動などまさに多目的に活用されていくこととなります。

興誠学園のあゆみ

- 昭和8年11月 財団法人興誠商業学校設立認可 興誠商業学校開校
- 昭和19年2月 法人を財団法人興誠会に改組、戦時措置令により興誠航空工業学校に改称
- 昭和23年4月 新学制施行により興誠高等学校と改称、興誠中学校を併設
- 昭和25年12月 私立学校法制定により学校法人興誠学園に改組
- 昭和26年4月 浜松短期大学開学
- 昭和27年4月 浜松商科短期大学に改称、興誠商業高等学校に改称
- 昭和42年4月 浜松短期大学に改称、幼児教育科第一部、第二部開設
- 昭和48年4月 興誠高等学校に改称、浜松短期大学付属幼稚園開園
- 昭和61年4月 浜松短期大学に英語科開設
- 平成7年4月 興誠高等学校普通科を男女共学に
- 平成16年4月 浜松学院大学(現代コミュニケーション学部)開学、興誠中学校開校
- 4月 浜松学院大学短期大学部に改称
- 浜松学院大学付属幼稚園に改称
- 平成19年4月 浜松学院大学に子どもコミュニケーション学科開設
- 平成21年4月 浜松学院大学に地域共創学科開設
- 平成23年4月 浜松学院高等学校、浜松学院中学校に改称
- 4月 浜松学院大学付属愛野こども園開園



昭和42年頃の登下校風景



商科第2部 昭和42年度卒業生

興誠学園の教育研究体制



浜松学院大学

静岡県浜松市中区布橋3丁目2番3号
TEL 053-450-7000
FAX 053-450-7110



浜松学院短期大学部

浜松市中区住吉2丁目3番1号
TEL 053-473-6100
FAX 053-473-6196



浜松学院高等学校

静岡県浜松市中区高林1丁目17番2号
TEL 053-471-4136
FAX 053-471-4137



浜松学院中学校

静岡県浜松市中区高林1丁目17番2号
TEL 053-471-4136
FAX 053-471-4137



浜松学院大学付属幼稚園

浜松市中区住吉1丁目22番5号
TEL 053-472-5193
FAX 053-472-7080

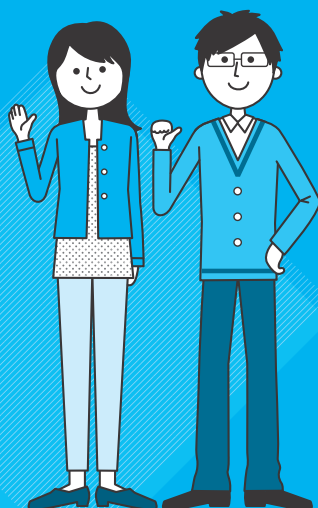


浜松学院大学付属愛野こども園

静岡県袋井市愛野南2丁目2番3号
TEL 0538-44-7800
FAX 0538-44-7801

浜松学院大学

現代コミュニケーション学部
子どもコミュニケーション学科・地域共創学科



地域の課題解決に
貢献する
人材を育成!



〒432-8012
静岡県浜松市中区布橋三丁目2番3号
Tel.053-450-7000
<http://www.hgu.ac.jp/hamagaku>



〒430-0906
静岡県浜松市中区住吉二丁目3番1号
Tel.053-473-6100
<http://www.hgu.ac.jp/hamatan>

浜松学院大学 短期大学部

幼児教育科

子どもと歩む
保育者に!



浜松学院大学 付属幼稚園

無限の可能性を秘めた子どもたちに
心豊かな教育を



〒430-0906
浜松市中区住吉一丁目22番5番
Tel.053-472-5193
<http://www.hgu.ac.jp/kinder>



浜松学院大学付属 愛野こども園

知恵と力を出し合い
生き生きと遊べる子を
育てます

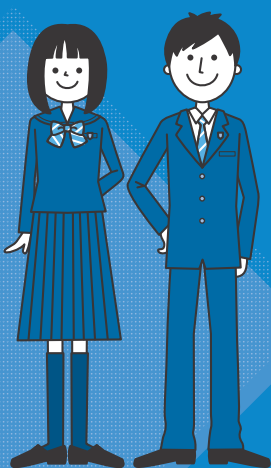


〒437-0040 静岡県袋井市愛野南二丁目2番3番
Tel.0538-44-7800 <http://www.hgu.ac.jp/kodomoen>



浜松学院 高等学校

マイビジョン教育で
自分の将来をプロデュース
「輝く未来の一步を踏み出そう」



〒430-0907 静岡県浜松市中区高林一丁目17番2号
Tel.053-471-4136 <http://www.szo-kosei-h.ed.jp>



学校法人 興誠学園

法人本部
〒430-0907 静岡県浜松市中区高林一丁目17番2号
Tel.053-473-6110
<http://www.szo-kosei-h.ed.jp/koseigakuen>